

資料提供

提供年月日：令和7年(2025年)2月7日
部 局 名：滋賀県教育委員会事務局
所 属 名：高校教育課
係 名：学校経営支援係
担 当 者 名：岸村、松木
連絡先(内線)：077-528-4573 (4573)
E - m a i l : ma0902@pref.shiga.lg.jp

令和7年度滋賀県立高等学校入学者選抜の特色選抜総合問題Ⅰにおける出題の誤りについて

令和7年度滋賀県立高等学校入学者選抜の特色選抜総合問題Ⅰについて、以下のとおり対応します。なお、当該問題の過誤は、外部からの連絡により判明したものです。

2月5日(水)に実施した特色選抜において、総合問題Ⅰの問題のうち、14校で共通して出題した問題1題(3点分)は、全員を正答とする。

○該当問題

総合問題Ⅰ ③3(2) 正答例 政府開発援助

(2) 世界では国家間の経済格差が生じており、格差解消のために日本を含む先進国による発展途上国への支援が求められている。このような発展途上国の経済や福祉の発展のために、政府が行う資金援助や技術協力のことを何というか。漢字で答えなさい。

○出題校

東大津、大津、石山、草津東、玉川、守山、水口東、彦根東、河瀬、八日市、長浜北、虎姫、米原、高島 以上14校(受検者数3,111名)

○理由

出題内容は、社会科公民的分野における中学3年生の3学期後半に学習する内容であった。そのため、学習していない受検生がいたことから、公正公平への配慮が不足した出題であったと判断した。

○原因

出題する問題について、中学生が学習する時期の確認が不足していた。

○再発防止に向けて

入学者選抜の問題作成にあたっては、これまで以上に注意しながら、学習指導要領および教科書の内容、中学校における学習進度を確認する。